

労働現場における高年齢労働を 考えるうえでのポイント

三井化学(株) 大牟田工場
産業医
横田 直行

※公開用として、資料の一部にぼかし加工を実施しています

当工場の紹介



現場社員の働き方



コンピューター機器（DCS）
による監視業務



工場（プラント）内のパトロール

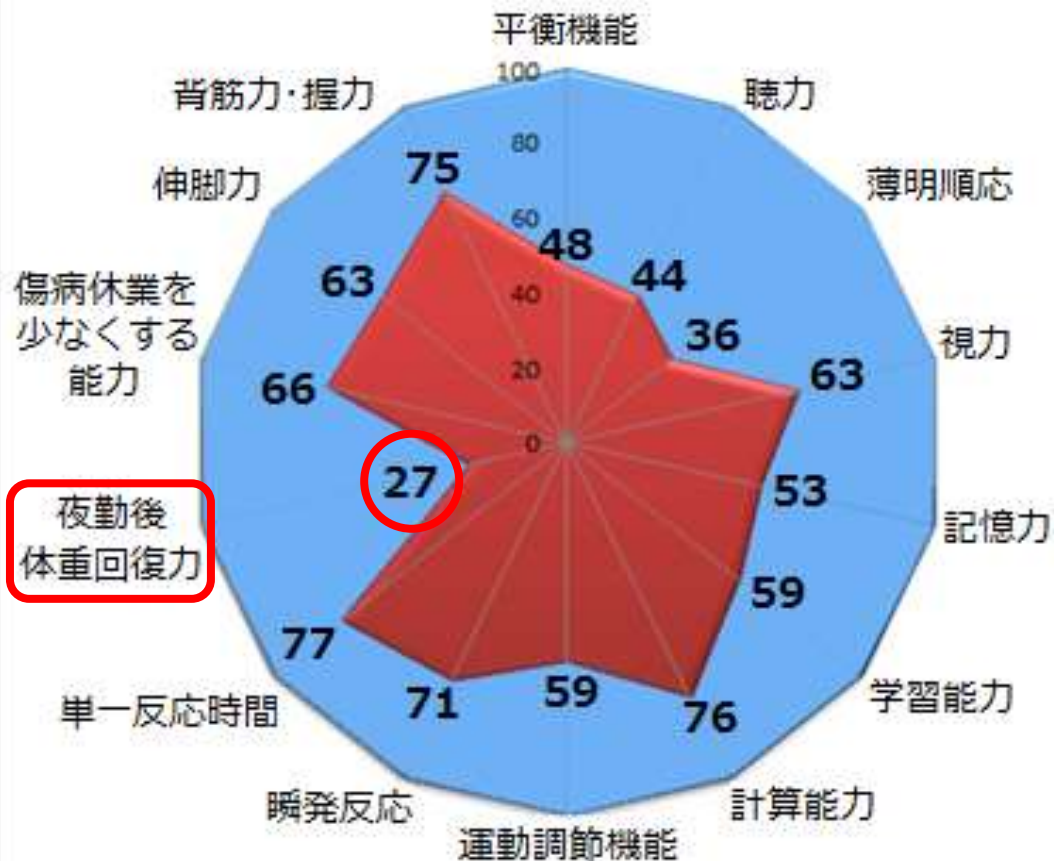
- 特徴
- 4直3交替：深夜勤務→準夜勤→日勤
 - 身体的負担は少ない
 - 代表的な労災は、化学物質等の被液や吸引

当工場における高齢労働の懸念点は「交替勤務」の継続

高齢労働と交替勤務

加齢に伴う各種身体機能の変化

■ 20歳～24歳 ■ 55歳～59歳



(斉藤一ほか:『労働科学叢書53 高齢者の労働能力』1980)

加齢により

- 睡眠の質の低下
- 疲労しやすく、回復しにくいことが一般的に知られている

交替勤務の継続は困難か？



当工場における交替者の10年後推移



ほとんどの方が継続している

交替勤務が継続できる理由

- 慣れ：入社以来ほぼ交替勤務

⇔ “常昼から交替”は難しいと思われる

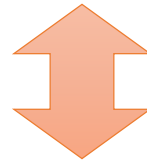
- 身体的に負荷の高い作業が少ない
- 必要とされている

経験が強く生きる業務でもあり、長くいることの職場へのメリットも大きい。

- 金銭面

高年齢労働者が働きやすい環境

- 慣れた業務/これまでの経験を活かせる業務
- 身体的に負荷の少ない業務
- 職場から“必要とされている” モチベーション↑



- これまでの経験が活かせない不慣れ業務
- 身体的に負荷のある業務 モチベーション↓
- 誰でも出来る業務（自分である必要がない）

※ただし、状況による

高年齢労働者とメンタル不調

- 高年齢労働者が受けるストレス要因

- ✓ 業務の高度化

- ✓ 業務内容の変更

- ✓ 年下の上司

など



- 高年齢労働者が与えるストレス要因

- ✓ 自身の価値観を押し付けた指導

など

両面からのサポートが必要です

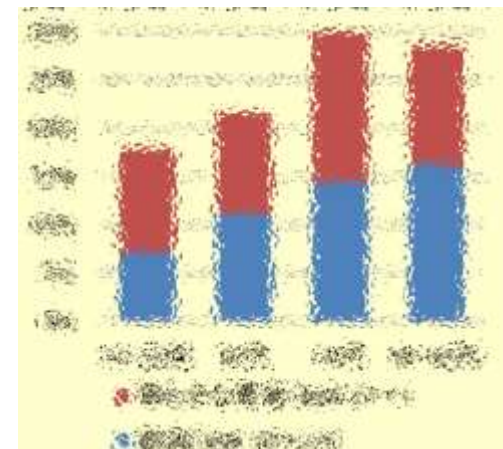
高年齢労働者と身体疾患

- がん

- ✓多くは50代から増加。検診による早期発見・早期治療

- 脳/心臓疾患

- ✓40～50代から増加。背景に「生活習慣病」、さらには「肥満」。「肥満」は40代には概ね完成してしまうので、20代・30代への介入が必要。



ある年の当工場の肥満率

さいごに

- 高年齢労働者を「特別視」した対策はあまり好ましくありません。
- 安全面や、身体面、精神面、健康面などの対策は高年齢のみならず、全年齢に共通するものが多いです。
- 職場全員にとって働きやすい職場が、高年齢労働者にとっても働きやすい職場である、と認識することが最も重要なポイントと考えます。

ご清聴ありがとうございました